

7 款 商工費

事業概要

事務事業評価シート(令和2年度(2020年度)事業)

事務事業名	企業立地の促進										事業類型	補助・負担・支援					
担当部課	産業振興部 企業支援課																
基本計画	編	5	章	1	施策番号	37	企業支援				まち・ひと・しごと 創生総合戦略		②	—			
予算科目	会計		一般会計			款	07	商工費		項	01	商工費		目	01	商工振興費	
根拠法令等	八王子市企業立地支援条例																
事業目的 (最終的に目指す状態)	「八王子ビジョン2022」及び「八王子市産業振興マスタープラン【第2期】」に掲げる企業誘致の推進を図るため、八王子市企業立地支援条例を活用した企業立地促進事業を進めていく。																

行政コスト計算書

(単位 千円)

勘定科目		30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)	勘定科目		30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)
経常費用	人件費	職員給与費	17,757	16,703	11,367	△ 5,337	経常収入	保険料	0	0	0
		賞与・退職手当引当金繰入額	2,350	1,461	968	△ 493		国庫支出金	0	0	0
		その他	0	0	0	0		都支出金	89,703	96,402	92,658
		小計	20,106	18,164	12,334	△ 5,830		分担金及び負担金	0	0	0
	業務費用	物件費	0	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0
		維持補修費	0	0	0	0		繰入金	0	0	0
		減価償却費	0	0	0	0		その他	0	224	3,716
		その他	0	0	0	0		小計	89,703	96,626	96,374
	その他の業務費用	支払利息	0	0	0	0		経常収支差額 (A)	△ 336,694	△ 301,775	△ 270,542
		徴収不能引当金繰入額	0	0	0	0		特別費用	0	0	0
		その他	0	0	0	0		特別収入	0	0	0
		小計	0	0	0	0		特別収支差額 (B)	0	0	0
	小計		20,106	18,164	12,334	△ 5,830	本年度収支差額 (A) + (B) = (C)		△ 336,694	△ 301,775	△ 270,542
	移転費用		406,291	380,237	354,582	△ 25,655					
	小計		426,397	398,402	366,917	△ 31,485					

2年度	経 常 費 用		経 常 収 入	
主な内訳	企業立地奨励金支給額【344,498千円】		地域産業活性化計画事業費補助金【85,936円】	

事業の人員体制(会計年度任用職員を除く)

30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)
2.45人	2.31人	1.59人	△ 0.72人

指標と単位当たりコスト

		指標名	単位	30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因
①	その他	人件費比率	%	4.7	4.6	3.4	△1.2	コロナ禍においても事業者の誘致、拡張が増加している。
②	活動指標	奨励金指定件数	件	14	8	15	7	
		単位当たりコスト	円/件	30,456,936	49,800,199	24,461,116	△ 25,339,083	
③	成果指標	税收成果	億円	26	27	26	△ 1	企業立地支援制度を実施することで、毎年の税收増につながっている。
		単位当たりコスト	—	—	—	—	—	
④	成果指標	雇用創出	人	5,895	5,908	6,284	376	企業立地支援制度を実施することで、毎年の雇用創出につながっている。
		単位当たりコスト	円/人	72,332	67,434	58,389	△ 9,045	
⑤								
		単位当たりコスト	円/					

事業実績

2年度目標	・都市計画部等の関係所管と連携し、新たな事業用地等の情報収集に努める。 ・平成31年4月より企業立地支援条例を改正したため、新制度の周知徹底と着実な運用を図り、指定事業者件数を増やしていく。 ・川口物流拠点への企業立地の実現に努める。	元年度末 時点の課題	・平成30年度末までの時限条例となっていた企業立地支援条例の改定を実施したため、新制度の周知徹底、着実な運用を進める。
目標に対する 事業実績	・改定した企業立地支援条例制度を適切に運用した。 ・企業立地支援条例に基づき、15件の事業者を指定し、累計の指定実績が146件となった。 ・既指定事業者に奨励金を交付した。（奨励金交付事業者24件 344,498,300円） ・東京都、金融機関、産業支援機関等への制度周知活動を実施した。 ・企業立地サポートネット活用実績 23件（平成31年度：28件） ・川口物流の企業立地に向け、企業への説明や事業の周知に努めた。	課題への対応	・平成31年度より企業立地支援条例を改定し、企業誘致、市内企業の市内への定着のさらなる促進を進めた。 ・東京都、金融機関、産業支援機関等への制度周知活動を実施した。
			解決
2年度評価	達成	次年度（4年度） 以降の展開	現状維持

今後の取組

3年度目標	・都市計画部等の関係所管と連携し、新たな事業用地等の情報収集に努める。 ・平成31年4月より企業立地支援条例を改正したため、新制度の周知徹底と着実な運用を図り、指定事業者件数を増やしていく。 ・川口物流拠点への企業立地の実現に努める。	2年度末 時点の課題	・平成30年度末までの時限条例となっていた企業立地支援条例の改定を実施したため、新制度の周知徹底、着実な運用を進める。
3年度の取組	・都市計画部等の関係所管と連携し、新たな事業用地等の情報収集に努める。 ・引き続き事業用地サポートネットの活用を進める。 ・関係機関への制度周知を行う。 ・改正後の企業立地支援条例を適切に運用する。	4年度の計画	・都市計画部等の関係所管と連携し、新たな事業用地等の情報収集に努める。 ・引き続き事業用地サポートネットの活用を進める。 ・関係機関への制度周知を行う。 ・改正後の企業立地支援条例を適切に運用する。

事業概要

事務事業評価シート(令和2年度(2020年度)事業)

事務事業名	中小企業等の活性化支援										事業類型	補助・負担・支援					
担当部課	産業振興部 企業支援課																
基本計画	編	5	章	1	施策番号	37	企業支援				まち・ひと・しごと 創生総合戦略		②	—			
予算科目	会計		一般会計			款	07	商工費		項	01	商工費		目	01	商工振興費	
根拠法令等	八王子市産業振興マスタープラン【第2期】																
事業目的 (最終的に目指す状態)	「八王子ビジョン2022」及び「八王子市産業振興マスタープラン【第2期】」に掲げる企業支援を推進するため、市内中小企業の販路拡大や人材育成、新たな技術・製品の開発及び事業拡大などを支援し、企業の生産性向上による地域経済の活性化を図る。																

行政コスト計算書

(単位 千円)

勘定科目		30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)	勘定科目		30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)	
経常費用	人件費	職員給与費	18,626	21,114	13,011	△ 8,103	経常収入	保険料	0	0	0	0
		賞与・退職手当引当金繰入額	3,423	5,472	1,108	△ 4,364		国庫支出金	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0		都支出金	4,003	4,392	6,592	2,200
		小計	22,050	26,586	14,119	△ 12,467		分担金及び負担金	0	0	0	0
	物件費等	物件費	4,018	3,985	2,658	△ 1,327		使用料及び手数料	0	0	0	0
		維持補修費	0	0	0	0		繰入金	0	0	0	0
		減価償却費	0	0	0	0		その他	40	38	6,272	6,234
		その他	0	0	0	0		小計	4,043	4,430	12,864	8,434
	小計	4,018	3,985	2,658	△ 1,327	経常収支差額（A）		△ 64,067	△ 70,120	△ 59,574	10,546	
	その他の業務費用	支払利息	0	0	0	0	特別費用	0	0	0	0	
		徴収不能引当金繰入額	0	0	0	0	特別収入	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	特別収支差額（B）	0	0	0	0	
		小計	0	0	0	本年度収支差額 (A) + (B) = (C)						△ 64,067
	小計	26,068	30,571	16,776	△ 13,795							
	移転費用		42,042	43,980	55,662	11,683						
	小計		68,109	74,550	72,439	△ 2,112						

2年度	経 常 費 用	経 常 収 入
主な内訳	サイバーシルクロード八王子負担金等【28,167千円】 小規模事業経営支援事業補助金【18,140千円】	地域産業活性化計画事業費補助金【6,592千円】

事業の人員体制(会計年度任用職員を除く)

30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)
2.57人	2.92人	1.82人	△ 1.10人

指標と単位当たりコスト

		指標名	単位	30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因
①	その他	人件費比率	%	32.4	35.7	19.5	△16.2	
②	活動指標	助成件数	社	33	49	59	10	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者が売上向上のため申請をしたことから件数が増加した。
		単位当たりコスト	円/社	2,063,920	1,521,436	1,227,774	△ 293,662	
③	活動指標	本気の創業塾受講者	名	—	20.0	12.0	△ 8	新型コロナウイルス感染症の影響により定員を20名から12名に減らして実施したため
		単位当たりコスト	円/名	—	3,727,518	6,036,555	2,309,038	
④	活動指標	はちおうじ未来塾受講者	名	—	9	—	—	新型コロナウイルス感染症の影響により、中止としたため
		単位当たりコスト	円/名	—	8,283,373	—	—	
⑤		単位当たりコスト	円/					

事業実績

2年度目標	後継者10名、創業者20者を育成するとともに、農商工連携を更に推進する。 農業以外の連携に関するイベント、若しくは産業交流拠点開設に向けたイベントを開催する。	元年度末 時点の課題	・販路先を見据えた（出口戦略）新産業の創出支援および中小企業の販路拡大支援のメニューの周知、実施
目標に対する 事業実績	後継者育成塾（はちおうじ未来塾） 中止 本気の創業塾 12名受講 集合型セミナーについてはすべて中止（ITセミナー、海外展開セミナー、事業承継セミナー）	課題への対応	・新産業創出に向けた支援の在り方について、サイバーシルクロードと市で意見交換を実施し、農業分野をはじめとして社会的に需要の高まることが見込まれるロボットやドローンの活用についてテーマとしていくこととした。 ・販路開拓支援補助金の周知について、小規模事業者との接点の多い八王子商工会議所にも協力を依頼、多数の申請に結び付けた。
			一部解決
2年度評価	達成	次年度（4年度）以降の展開	現状維持

今後の取組

3年度目標	・展示会出展支援補助及び販路拡大支援補助67件 ・後継者10名、創業者20者を育成するとともに、農商工連携を更に推進する。ただし新型コロナウイルス感染症の影響がある場合には、定員の見直しを行いつつ事業実施に努める。 ・創業支援体制の強化に向けた連携強化 ・事業承継促進に向けた国及び都の機関との連携強化 ・令和4年秋の都立多摩産業交流センター開設を見据え、本市の製造業の活性化につながるものづくり系イベントの検討を行う。	2年度末 時点の課題	・新型コロナウイルス感染症の影響により、大きく売上が減少した事業者の売上改善 ・多様化・複雑化及びグローバル化に対応できる事業者育成のための支援策検討 ・市内事業者の経営者の高齢化対策及び事業承継支援 ・都立多摩産業交流センターを活用したイベント検討などの準備
3年度の取組	・はちおうじ未来塾の実施 ・本気の創業塾の実施 ・創業ステーションTAMA（都運営）との連携による創業支援策の実施 ・販路拡大及び売上向上を目的とした各補助制度の実施 ・外部機関（商工会議所、サイバーシルクロード八王子、金融機関、東京都中小企業振興公社等）との連携による創業支援制度の強化 ・外部機関（事業引継ぎ支援センター等）との連携による事業承継セミナーの実施 ・都立多摩産業交流センターでのものづくり系イベント実施に向けた検討	4年度の計画	・売上向上に向けた支援策の実施 ・後継者を含めた次世代人材の育成 ・創業支援体制の強化及び多様なビジネススタイルへの対応 ・国や都等と連携した事業承継支援体制の構築 ・新型コロナウイルス感染症の影響からの早期回復 ・都立多摩産業交流センターを活用したものづくり系イベントの開催

事業概要

事務事業評価シート(令和2年度(2020年度)事業)

事務事業名	繊維産業の振興										事業類型	補助・負担・支援					
担当部課	産業振興部 企業支援課																
基本計画	編	5	章	1	施策番号	37	企業支援				まち・ひと・しごと 創生総合戦略		②	—			
予算科目	会計		一般会計			款	07	商工費		項	01	商工費		目	01	商工振興費	
根拠法令等	八王子市繊維産業振興事業補助金交付要綱																
事業目的 (最終的に目指す状態)	地場産業である八王子の繊維産業の振興を図るため、繊維産業振興団体が展開する新製品の開発や販路拡大等の活動を支援する。																

行政コスト計算書

(単位 千円)

勘定科目		30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)	勘定科目		30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)	
経常費用	人件費	職員給与費	290	2,892	1,930	△ 962	経常収入	保険料	0	0	0	0
		賞与・退職手当引当金繰入額	45	2,926	164	△ 2,762		国庫支出金	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0		都支出金	0	0	0	0
		小計	335	5,818	2,095	△ 3,724		分担金及び負担金	0	0	0	0
	物件費等	物件費	287	292	275	△ 17		使用料及び手数料	0	0	0	0
		維持補修費	0	0	0	0		繰入金	0	0	0	0
		減価償却費	0	0	0	0		その他	0	0	683	683
		その他	0	0	0	0		小計	0	0	683	683
	その他の業務費用	支払利息	0	0	0	0	経常収支差額（A）	△ 2,584	△ 8,073	△ 3,649	4,424	
		徴収不能引当金繰入額	0	0	0	0	特別費用	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	特別収入	0	0	0	0	
		小計	0	0	0	0	特別収支差額（B）	0	0	0	0	
	小計		622	6,111	2,369	△ 3,741	本年度収支差額 （A）+（B）=（C）	△ 2,584	△ 8,073	△ 3,649	4,424	
	移転費用		1,962	1,962	1,962	0						
	小計		2,584	8,073	4,331	△ 3,741						
	2年度	経 常 費 用					経 常 収 入					
主な内訳	繊維産業振興事業補助金【1,962千円】 繊維物伝承拠点移転に伴う織機等の設置業務委託【232千円】					—						

事業の人員体制(会計年度任用職員を除く)

30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)
0.04人	0.40人	0.27人	△ 0.13人

指標と単位当たりコスト

		指標名	単位	30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因
①	その他	人件費比率	%	13.0	72.1	48.4	△23.7	実績による
②	活動指標	補助金交付件数	件	2	2	2	0	
		単位当たりコスト	円/件	1,292,087	4,036,254	2,165,729	△ 1,870,525	
③	成果指標	補助金交付額	千円	1,962	1,962	1,962	0	実績による
		単位当たりコスト	—	—	—	—	—	
④								
		単位当たりコスト	円/					
⑤								
		単位当たりコスト	円/					

事業実績

2年度目標	・販路開拓事業等の補助対象事業の計画通りの実施 ・市内の機織り技術を伝承する団体への支援を実施 ・織物伝承拠点施設の移転	元年度末 時点の課題	・継承者の育成など八王子織物の伝統を守るための事業と、新たな視点による製品開発、ブランド開発などの事業とを同時に進めることが必要 ・織物のまちであることの認知度の向上 ・織物伝承拠点施設（旧浅川支所）の老朽化による移転
目標に対する 事業実績	・繊維産業振興団体（2件）に計1,962,000円の補助を実施した。補助団体は、当初の計画通りの事業を行った。 ・機織り技術を伝承する団体に活動場所を提供した。 ・織物伝承拠点を旧浅川支所から絹の道資料館へ移転した。	課題への対応	・「八王子織物総合展」にて、産地ブランド「マルベリーシティ」ネクタイ、伝統的工芸品「多摩織」等を展示し、一般消費者等に対し地場織物の魅力PRに努め市場開拓に繋げた。 ・ネクタイのデザインを学生から公募するコンペを開催し、次世代の育成に努めた。 ・日本最大の繊維見本市「ジャパンクリエーション2020A/W展」に出展し、海外有名ブランドに採用されるような高い技術を持つ八王子織物をPRした。 ・機織り技術を伝承する団体（多摩シルクライフ21研究会）が、機織り・養蚕等の伝統文化継承活動を継続できるよう移転先を提供した。
			解決
2年度評価	達成	次年度（4年度）以降の展開	現状維持

今後の取組

3年度目標	・販路開拓事業等の補助対象事業の計画通りの実施 ・市内の機織り技術を伝承する団体への支援を実施	2年度末 時点の課題	・継承者の育成など八王子織物の伝統を守るための事業と、新たな視点による製品開発、ブランド開発などの事業とを同時に進めることが必要 ・織物のまちであることの認知度の向上
3年度の取組	・繊維産業振興団体が販路開拓等の事業を行うための補助金を交付 ・機織り技術を伝承する団体に活動場所を提供	4年度の計画	・繊維産業振興団体が販路開拓等の事業を行うための補助金を交付 ・機織り技術を伝承する団体に活動場所を提供

事業概要

事務事業評価シート(令和2年度(2020年度)事業)

事務事業名	中心市街地の活性化										事業類型	その他					
担当部課	拠点整備部 市街地活性化課																
基本計画	編	5	章	3	施策番号	41	にぎわいにつながる産業の振興					まち・ひと・しごと 創生総合戦略		③	④		
予算科目	会計		一般会計			款	07	商工費		項	01	商工費		目	01	商工振興費	
根拠法令等	中心市街地の活性化に関する法律、八王子市中心市街地活性化基本計画																
事業目的 (最終的に目指す状態)	八王子市中心市街地活性化基本計画に基づき、中心市街地のまちの魅力づくり、にぎわいの創出に取り組むことで中心市街地の活性化を図る。																

行政コスト計算書

(単位 千円)

		勘定科目		30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)			勘定科目		30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)
経常費用	業務費用	人件費	職員給与費	27,179	27,767	19,731	△ 8,036	経常収入	保険料	0	0	0	0		
			賞与・退職手当引当金繰入額	8,225	5,087	1,680	△ 3,407		国庫支出金	0	0	0	0		
			その他	0	0	0	0		都支出金	0	0	0	0		
			小計	35,404	32,854	21,411	△ 11,443		分担金及び負担金	0	0	0	0		
	物件費等	物件費	8,262	8,790	8,502	△ 288	使用料及び手数料		0	0	0	0			
		維持補修費	0	0	0	0	繰入金		0	0	0	0			
		減価償却費	3,135	3,135	3,135	0	その他		0	624	5,940	5,316			
		その他	0	0	0	0	小計		0	624	5,940	5,316			
	その他の業務費用	支払利息	0	0	0	0	経常収支差額（A）		△ 49,799	△ 49,838	△ 30,730	19,108			
		徴収不能引当金繰入額	0	0	0	0	特別費用		0	0	0	0			
		その他	0	0	0	0	特別収入		0	0	0	0			
		小計	0	0	0	0	特別収支差額（B）		0	0	0	0			
	小計		46,801	44,779	33,048	△ 11,731	本年度収支差額（A）+（B）=（C）		△ 49,799	△ 49,838	△ 30,730	19,108			
	移転費用		2,998	5,683	3,622	△ 2,061									
	小計		49,799	50,462	36,670	△ 13,792									

2年度	経 常 費 用		経 常 収 入	
主な内訳	調査分析委託料【4,759千円】 空き店舗改修費補助金【3,000千円】		建物賃貸料【624千円】	

事業の人員体制(会計年度任用職員を除く)

30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)
3.75人	3.84人	2.76人	△ 1.08人

指標と単位当たりコスト

		指標名	単位	30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因
①	その他	人件費比率	%	71.1	65.1	58.4	△6.7	新型コロナウイルス感染症の影響により、出店数が減少していることが考えられる。
②	成果指標	空き店舗への出店数		3	8	6	△ 2	
		単位当たりコスト	円/	16,599,665	6,307,709	6,111,673	△ 196,036	
③								
		単位当たりコスト	円/					
④								
		単位当たりコスト	円/					
⑤								
		単位当たりコスト	円/					

事業実績

2年度目標	中心市街地活性化基本計画に掲げる事業を適正に進行管理する。 1. 計画期間の中間年度を迎える2年度は、計画に掲げる目標（歩行者通行量・新規出店数・小売業年間商品販売額）の達成を見込むことができる水準に達している必要がある。遅れている事業の推進と順調な事業の継続に取り組む。 2. 緊急事態宣言による地域経済（特に、目標である小売業年間商品販売額）への影響を最小限に食い止めるため、民間事業者との連携を深め、民間が主体となって進める事業の計画期間内の目標達成を目指す。	元年度末 時点の課題	・中心市街地における回遊性・滞留性の不足 ・中心市街地の経済活力の低下 ・民間が主体となって取り組む事業の確実な推進
目標に対する 事業実績	・歩行者通行量調査の実施 調査日：1回目 11/29(日)、12/1(火) 2回目 12/6(日)、12/8(火) 報告書作成採用日：12/6、12/8 調査時間：9：00～22：00 調査箇所：中心市街地31地点 ・空き店舗改修費補助金の交付 申請6件、交付6件（サービス業4件、飲食業2件） ・まちなか交流・活動拠点（kikki+）の運営支援 年間施設利用者数：4,254人 年間イベント・施設貸回数：185回 ・中心市街地おもてなし通信環境の提供 (Wi-Fiアクセス件数574,223件R2.4月～R3.3月) ・中心市街地活性化協議会の開催：3回 (8/19、12/17、3/29)	課題への対応	・懸案だった夢五房のより効果的な活用について商工会議所と検討を重ねた結果、シェア店舗や地域のための多目的スペースとして、5区画全てを稼働させることができた。 ・まちなか休憩所八王子宿の開設により、回遊性・滞留性を向上させることができた。
			一部解決
2年度評価	やや不十分	次年度（4年度） 以降の展開	現状維持

今後の取組

3年度目標	①中心市街地活性化基本計画 掲載事業を着実に進め、適正な進行管理を行う。 ・計画期間の完了に向け、計画目標（歩行者通行量、新規出店数、小売業年間商品販売額）が達成見込みの水準になる必要があるため、遅れている事業の推進と順調な事業の継続に取り組む。 ・コロナ禍による地域経済（特に、計画目標である小売業年間商品販売額）への影響を鑑み、民間が主体となって進める事業の計画期間内の目標達成を目指し調整を図る。 ②所管事業 空き店舗改修費補助金、まちなか魅力づくり支援補助金など、まちの魅力づくりに資する事業について、事業者、関係機関に積極的な働きかけを行い、事業の進捗を図る。	2年度末 時点の課題	・中心市街地の経済活力の低下 ・民間が主体となる事業の遅れ ・中心市街地における回遊性・滞留性の不足
3年度の取組	①中心市街地活性化基本計画 ・事業評価 計画の進捗に関する自己評価、国のフォローアップ報告書の作成 ・進行管理 市主体事業の継続的な実施と民間主体事業のうち、遅れが生じている事業の進捗促進とその支援 ②所管事業 ・事業者、関係機関への働きかけ及び調整 ・ホームページ、パンフレットでの事業PR	4年度の計画	中心市街地活性化基本計画最終年度となるので、目標の達成に向けた取り組み及び掲載事業の進行管理を確実に行う。

事業概要

事務事業評価シート(令和2年度(2020年度)事業)

事務事業名	M I C Eの推進										事業類型	補助・負担・支援					
担当部課	産業振興部 産業政策課																
基本計画	編	5	章	3	施策番号	41	にぎわいにつながる産業の振興					まち・ひと・しごと 創生総合戦略		④	－		
予算科目	会計		一般会計			款	07	商工費		項	01	商工費		目	01	商工振興費	
根拠法令等	八王子市産業振興マスタープラン【第2期】、八王子MICE都市推進センター活動計画実施計画、公益社団法人八王子観光コンベンション協会に対する補助金交付要綱																
事業目的 (最終的に目指す状態)	(公社)八王子観光コンベンション協会に対する補助を実施し、本市の観光資源・産業資源を生かしたMICE誘致活動を展開することで、中心市街地をはじめとした市域への一層の誘客を図り、まちのにぎわいの創出につなげるとともに、経済波及効果を生み出していく。																

行政コスト計算書

(単位 千円)

勘定科目		30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)	勘定科目		30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)
経常費用	人件費	職員給与費	5,943	8,532	6,720	△ 1,812	経常収入	保険料	0	0	0
		賞与・退職手当引当金繰入額	1,797	3,862	572	△ 3,289		国庫支出金	0	0	0
		その他	0	0	0	0		都支出金	0	0	0
		小計	7,740	12,394	7,292	△ 5,102		分担金及び負担金	0	0	0
	物件費等	物件費	0	226	0	△ 226		使用料及び手数料	0	0	0
		維持補修費	0	0	0	0		繰入金	0	0	0
		減価償却費	0	0	0	0		その他	0	226	956
		その他	0	0	0	0		小計	0	226	956
	その他の業務費用	支払利息	0	0	0	0	経常収支差額 (A)		△ 49,438	△ 60,300	△ 50,506
		徴収不能引当金繰入額	0	0	0	0	特別費用		0	0	0
		その他	0	0	0	0	特別収入		0	0	0
		小計	0	0	0	0	特別収支差額 (B)		0	0	0
	小計		7,740	12,620	7,292	△ 5,328	本年度収支差額 (A) + (B) = (C)		△ 49,438	△ 60,300	△ 50,506
	移転費用		41,698	47,906	44,170	△ 3,736					
	小計		49,438	60,526	51,462	△ 9,064					

2年度	経 常 費 用	経 常 収 入
主な内訳	八王子観光コンベンション協会補助金【31,415千円】	—

事業の人員体制(会計年度任用職員を除く)

30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)
0.82人	1.18人	0.94人	△ 0.24人

指標と単位当たりコスト

		指標名	単位	30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因
①	その他	人件費比率	%	15.7	20.5	14.2	△6.3	
②	活動指標	MICE開催支援件数	件	30	14	3	△ 11	新型コロナウイルスの影響により、予定されていたMICE案件がオンライン開催や中止になったため。
		単位当たりコスト	円/件	1,647,929	4,323,309	17,154,095	12,830,786	
③	成果指標	経済波及効果	億円	3.8	4.4	—	—	新型コロナウイルスの影響により、予定されていたMICE案件がオンライン開催や中止になったため。
		単位当たりコスト	—	—	—	—	—	
④								
		単位当たりコスト	円/					
⑤								
		単位当たりコスト	円/					

事業実績

2年度目標	◆「活動計画実施計画」どおりに事業運営出来ていること。 ◆協力事業者を掘り起こすためのセミナー等開催と事業者ネットワークの構築 ◆MICE誘致実績が増えていること。及び顧客の開拓が進んでいること。	元年度末 時点の課題	◆MICE開催支援を円滑に進めるため、受入れ体制（事業者ネットワークの構築）の整備が必要 ◆協会の運営が軌道に乗るまで、補助金だけでなく、マンパワーによる支援が必要 ◆安定的なMICE開催のための顧客開拓
目標に対する 事業実績	◆商品開発 ○エクスカーショントライアルツアーの実施（2回） ◆MICEセールス ○国際MICEエキスポへの出展 ○ビッドペーパー案の作成 ○市内7施設の詳細データの制作 ○ノベルティ制作（ボールペン2,000本） ○MICEロゴデザイン及びプロモーションツールの制作 ○プロモーション動画の制作（2本） ○学会等営業パンフレットの制作（10,000部） ○市民向けオンラインシンポジウム（参加者：187名） ○市民向けMICE案内パンフレット制作（5,000部） ◆事業者ネットワークの構築 ○事業者向けセミナー（参加者：54名）	課題への対応	◆事業者ネットワークの構築 ○事業者向けセミナー（参加者：54名） ◆市と観光コンベンション協会の連携 - 八王子市観光コンベンション協会、東京観光財団による月1回の定例会への参加をはじめ、市職員と観光コンベンション協会担当者が協働で事業を進めている。 ◆顧客開拓 ○学会等営業パンフレットの制作（10,000部） ○市内大学等への営業活動の実施 ○国際MICEエキスポへの出展
2年度評価	不十分	次年度（4年度） 以降の展開	未解決 拡充

今後の取組

3年度目標	◆MICE推進体制が整い、対外的にMICE誘致に力を入れることが”見える化”されている。 ◆市としてのMICE戦略（考え方）が示されている（計画冊子は産業イノベーションプランに包含）。 ◆東京都及びJCSとの関係性が構築され、産業交流センターの利活用に係る会議体が組成されている。	2年度末 時点の課題	◆多摩産業交流センターの令和4年秋の開設に向け、指定管理者及び東京都との連携関係の構築 ◆MICE開催者からの要求に応えることが出来るように、事業者ネットワークの充実 ◆MICE誘致の営業強化
3年度の取組	◆東京都及びJCSとの関係強化 ◆MICE戦略（考え方）の策定（令和3年度～令和4年度） ◆事業者ネットワークの強化 - 事業者の誘致及び事業者向けセミナー、事業者ネットワーク勉強会の開催（2回） ◆市民のMICE理解の向上を図るための市民向けセミナーの開催（1回）	4年度の計画	◆事業者ネットワークの充実 - MICE開催者の要望に応えることが出来るように質・量ともに充実 ◆MICE誘致の強化 2022年秋頃の多摩産業交流センターオープンに向け、MICE誘致の充実 ◆他都市との連携強化 - 東京ビジネスイベント重点支援エリアなどとの連携

事業概要

事務事業評価シート(令和2年度(2020年度)事業)

事務事業名	事業資金助成										事業類型	補助・負担・支援					
担当部課	産業振興部 産業政策課																
基本計画	編	5	章	1	施策番号	37	企業支援				まち・ひと・しごと 創生総合戦略		②	—			
予算科目	会計		一般会計			款	07	商工費		項	01	商工費		目	01	商工振興費	
根拠法令等	事業資金融資あっ旋条例、事業資金融資あっ旋要綱、マル経融資利子補給金補助金交付要綱																
事業目的 (最終的に目指す状態)	市内で小規模事業を営み、または営もうとする法人・個人に対し、その事業に要する資金について金融機関に融資を あつ旋することによって、小規模事業者の自主的な経済活動を促進し、もって小規模事業の育成及び振興に寄与する。																

行政コスト計算書

(単位 千円)

勘定科目		30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)	勘定科目		30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)
経常費用	人件費	職員給与費	7,610	9,545	7,006	△ 2,539	経常収入	保険料	0	0	0
		賞与・退職手当引当金繰入額	832	3,402	1,136	△ 2,266		国庫支出金	0	0	0
		その他	6,869	6,838	10,648	3,810		都支出金	0	0	0
		小計	15,311	19,785	18,790	△ 995		分担金及び負担金	0	0	0
	物件費等	物件費	1,382	1,983	1,266	△ 716		使用料及び手数料	0	0	0
		維持補修費	0	0	0	0		繰入金	0	0	0
		減価償却費	476	485	485	0		その他	0	0	1,597
		その他	0	0	0	0		小計	0	0	1,597
		小計	1,857	2,468	1,751	△ 716	経常収支差額（A）	△ 214,682	△ 250,440	△ 153,119	
	その他の業務費用	支払利息	0	0	0	0	特別費用	0	0	0	
		徴収不能引当金繰入額	0	0	0	0	特別収入	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	特別収支差額（B）	0	0	0	
	小計	0	0	0	0	本年度収支差額 （A）+（B）=（C）	△ 214,682	△ 250,440	△ 153,119		
	小計	17,168	22,252	20,541	△ 1,711						
	移転費用	197,514	228,188	134,174	△ 94,013						
	小計	214,682	250,440	154,716	△ 95,724						

2年度	経 常 費 用		経 常 収 入	
主な内訳	小規模企業資金助成【69,926千円】 小口事業資金助成【105,319千円】		—	

事業の人員体制(会計年度任用職員を除く)

30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)
1.05人	1.32人	0.98人	△ 0.34人

指標と単位当たりコスト

		指標名	単位	30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因
①	その他	人件費比率	%	7.1	7.9	12.1	4.2	
②								
		単位当たりコスト	円/					
③								
		単位当たりコスト	円/					
④								
		単位当たりコスト	円/					
⑤								
		単位当たりコスト	円/					

事業実績

2年度目標	・新型コロナウイルス感染症の影響が出ている中小企業等が安定的、効率的な経営ができるよう事業資金をあっ旋するほか、信用保証料補助等の支援を引き続き行う。	元年度末 時点の課題	—
目標に対する 事業実績	新型コロナウイルス感染症対策として実施されている国のセーフティネット保証制度等の利用が多く、市制度融資利用者が想定時よりも少なかったが、下記のとおり実施した。 ・小口事業資金 融資件数-125件、保証料補助-15,657,623円 利子補給件数-684件、利子補給額-48,322,212円 ・小規模事業資金 融資件数-146件、保証料補助-9,872,126円 利子補給件数-1,728件、利子補給額-30,843,369円 ・創業支援資金 融資件数-72件、保証料補助-6,823,438円 利子補給件数-181件、利子補給額-4,778,916円 ・企業活力支援資金 利子補給件数-1,506件、利子補給額-12,611,298円 ・経営改善事業資金 利子補給件数-120件、利子補給額-3,315,851円	課題への対応	—
			—
2年度評価	やや不十分	次年度（4年度） 以降の展開	現状維持

今後の取組

3年度目標	・中小企業が安定的、効率的な経営ができるよう事業資金をあっ旋するほか、信用保証料補助等の支援を引き続き行う。	2年度末 時点の課題	・新型コロナウイルス感染症対策として実施されている国のセーフティネット保証制度等の利用が多く、市制度融資利用者が想定時よりも少なかった。
3年度の取組	・事業者への更なる周知・相談・説明 ・事業資金あっ旋制度の再構築に向けた調査研究	4年度の計画	・中小企業が安定的、効率的な経営ができる事業資金あっ旋制度の再構築。

事業概要

事務事業評価シート(令和2年度(2020年度)事業)

事務事業名	商店街の振興										事業類型	補助・負担・支援						
担当部課	産業振興部 産業政策課																	
基本計画	編	5	章	3	施策番号	41	にぎわいにつながる産業の振興					まち・ひと・しごと 創生総合戦略		③	－			
予算科目	会計		一般会計			款	07	商工費		項	01	商工費			目	01	商工振興費	
根拠法令等	商店街振興組合法、八王子市はばたけ商店街事業補助金交付要綱、 八王子市輝く個店グループ支援事業補助金交付要綱、八王子市商店街防犯設備整備事業補助金交付要綱																	
事業目的 (最終的に目指す状態)	商店街の整備、店舗の集団化、共同店舗等の整備等の事業を円滑に実施し、中小小売商業者の経営の近代化を促進すること等により、中小小売商業の振興を図る。																	

行政コスト計算書

(単位 千円)

勘定科目		30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)	勘定科目		30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)
経常費用	人件費	職員給与費	9,132	9,328	7,578	△ 1,750	経常収入	保険料	0	0	0
		賞与・退職手当引当金繰入額	790	1,707	645	△ 1,062		国庫支出金	0	0	0
		その他	0	0	0	0		都支出金	22,786	23,372	15,032
		小計	9,922	11,035	8,223	△ 2,812		分担金及び負担金	0	0	0
	業務費用	物件費	228	272	120	△ 152		使用料及び手数料	0	0	0
		維持補修費	0	0	0	0		繰入金	0	0	0
		減価償却費	0	0	0	0		その他	874	0	841
		その他	0	0	0	0		小計	23,660	23,372	15,873
	その他の業務費用	小計	228	272	120	△ 152		経常収支差額 (A)	△ 26,508	△ 30,786	△ 20,309
		支払利息	0	0	0	0	特別費用	特別費用	0	0	0
		徴収不能引当金繰入額	0	0	0	0		特別収入	0	0	0
		その他	0	0	0	0		特別収支差額 (B)	0	0	0
	小計		0	0	0	0	本年度収支差額 (A) + (B) = (C)		△ 26,508	△ 30,786	△ 20,309
	小計		10,150	11,307	8,343	△ 2,964					10,477
	移転費用		40,018	42,851	27,839	△ 15,012					
	小計		50,168	54,158	36,182	△ 17,976					

2年度	経 常 費 用		経 常 収 入	
主な内訳	はばたけ商店街事業補助金【26,367千円】 防犯カメラ設置補助金【1,214千円】		東京都支出金【15,032千円】	

事業の人員体制(会計年度任用職員を除く)

30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)
1.26人	1.29人	1.06人	△ 0.23人

指標と単位当たりコスト

		指標名	単位	30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因
①	その他	人件費比率	%	19.8	20.4	22.7	2.4	新型コロナウイルス感染拡大のため
②	活動指標	イベント回数	回	66	66	32	△ 34	
		単位当たりコスト	円/回	760,121	820,578	1,130,686	310,109	
③		単位当たりコスト	円/					
④		単位当たりコスト	円/					
⑤		単位当たりコスト	円/					

事業実績

2年度目標	・オリンピック、パラリンピックを契機に商店街が活性化している。 ・施設改修を支援し、安心安全な商店会と認識させる。	元年度末 時点の課題	・商店街が設置した構造物などのうち、耐用年数が経過したものがある。
目標に対する 事業実績	・フラッグの掲出により一体感はあったが、延期となったため翌年度へ持ち越す。 ・さしあたっての危険箇所は改修した。	課題への対応	・施設の耐用年数の確認を行うよう各商店会に依頼した。
			一部解決
2年度評価	やや不十分	次年度（4年度） 以降の展開	現状維持

今後の取組

3年度目標	各商店街が試行錯誤し、自主的なイベントを企画することで、地域コミュニティの核として機能している。	2年度末 時点の課題	輝く個店グループ支援事業の補助の在り方
3年度の取組	・コロナ禍におけるイベントの在り方を商業者とともに検討し、補助金の目的に沿った取り組みを行う。 ・輝く個店グループ支援事業の補助の在り方を検討	4年度の計画	・商店会組織の基盤強化のため、八王子市商店会連合会が実施する新規会員獲得のための取り組みを支援する。 ・輝く個店グループ支援事業を見直し・廃止し、空き店舗や空き家を活用し、魅力ある店舗を開店する事業者を支援していく。

事務事業評価シート(令和2年度(2020年度)事業)

事務事業名	都市活性化	事業類型	補助・負担・支援
担当部課	産業振興部 産業政策課		
基本計画	編 5 章 3	施策番号 42	地域資源を活用する産業の振興 まち・ひと・しごと 創生総合戦略
予算科目	会計 一般会計	款 07 商工費	項 01 商工費
根拠法令等	活力ある都市づくり推進事業補助金交付要綱		
事業目的 (最終的に目指す状態)	「ファッション都市・八王子基本構想」をもとに、商工会議所が中心となって行われるファッション都市協議会の活力ある都市づくり推進事業を支援し、中心市街地を主軸とした、本市の活性化を図る。		

(単位 千円)

勘定科目		30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)	勘定科目		30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)
経常費用	人件費	職員給与費	3,189	2,314	1,787	△ 527	経常収入	保険料	0	0	0
		賞与・退職手当引当金繰入額	2,510	202	152	△ 50		国庫支出金	0	0	0
		その他	0	0	0	0		都支出金	0	0	0
		小計	5,699	2,516	1,939	△ 577		分担金及び負担金	0	0	0
	物件費等	物件費	0	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0
		維持補修費	0	0	0	0		繰入金	0	0	0
		減価償却費	0	0	0	0		その他	0	660	296
		その他	0	0	0	0	小計	0	660	296	
		小計	0	0	0	0	経常収支差額（A）	△ 7,699	△ 4,456	△ 1,644	
	その他の業務費用	支払利息	0	0	0	0	特別費用	0	0	0	
		徴収不能引当金繰入額	0	0	0	0	特別収入	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	特別収支差額（B）	0	0	0	
		小計	0	0	0	0	本年度収支差額（A）+（B）=（C）	△ 7,699	△ 4,456	△ 1,644	
	移転費用		2,000	2,600	0	△ 2,600					
	小計		7,699	5,116	1,939	△ 3,177					

2年度	経 常 費 用	経 常 収 入
主な内訳	ファッション都市協議会補助金【260千円】	—

30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)
0.44人	0.32人	0.25人	△ 0.07人

		指標名	単位	30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因
①	その他	人件費比率	%	74.0	49.2	100.0	50.8	
②	活動指標	イベント回数	回	5	5	1	△ 4	新型コロナウイルス感染症拡大のため
		単位当たりコスト	円/回	1,539,724	1,023,250	1,939,378	916,128	
③								
		単位当たりコスト	円/					
④								
		単位当たりコスト	円/					
⑤								
		単位当たりコスト	円/					

事業実績

2年度目標	各事業を通じて中心市街地に賑わいが創出されている。	元年度末 時点の課題	—
目標に対する 事業実績	予定されていた5事業のうち、新型コロナウイルス感染症拡大により4事業が中止となった。	課題への対応	—
			—
2年度評価	不十分	次年度（4年度） 以降の展開	現状維持

今後の取組

3年度目標	各事業を通じて中心市街地に賑わいが創出されている。	2年度末 時点の課題	新型コロナウイルス感染症拡大による事業の中止
3年度の取組	引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止に努めつつ、事業を推進するが状況によって中止や延期の判断を行う。	4年度の計画	現状の計画を推進する。

事業概要

事務事業評価シート(令和2年度(2020年度)事業)

事務事業名	地域産業振興推進										事業類型	調査・企画立案					
担当部課	産業振興部 産業政策課、企業支援課																
基本計画	編	5	章	1	施策番号	36	産業振興の体制強化					まち・ひと・しごと 創生総合戦略		②	—		
予算科目	会計		一般会計			款	07	商工費		項	01	商工費		目	01	商工振興費	
根拠法令等	—																
事業目的 (最終的に目指す状態)	産業振興参与からの助言を受け、各産業分野の振興策を検討することにより、地域資源を生かした産業振興の推進を図る。																

行政コスト計算書

(単位 千円)

勘定科目		30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)	勘定科目		30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)
経常費用	人件費	職員給与費	4,421	3,326	2,574	△ 753	経常収入	保険料	0	0	0
		賞与・退職手当引当金繰入額	382	291	219	△ 72		国庫支出金	0	0	0
		その他	1,560	1,560	1,560	0		都支出金	0	0	0
		小計	6,364	5,177	4,353	△ 824		分担金及び負担金	0	0	0
	物件費等	物件費	1,682	1,480	880	△ 600		使用料及び手数料	0	0	0
		維持補修費	0	0	0	0		繰入金	0	0	0
		減価償却費	0	0	0	0		その他	8,777	877	420
		その他	0	0	0	0		小計	8,777	877	420
		小計	1,682	1,480	880	△ 600	経常収支差額（A）	692	△ 5,822	△ 4,822	
	その他の業務費用	支払利息	0	0	0	0	特別費用	0	0	0	
		徴収不能引当金繰入額	0	0	0	0	特別収入	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	特別収支差額（B）	0	0	0	
	小計		0	0	0	0	本年度収支差額（A）+（B）=（C）	692	△ 5,822	△ 4,822	
	小計		8,046	6,657	5,232	△ 1,424					
	移転費用		40	43	10	△ 33					
	小計		8,086	6,700	5,242	△ 1,457					

2年度	経 常 費 用				経 常 収 入			
主な内訳	産業振興参与報酬【1,560千円】				—			

事業の人員体制(会計年度任用職員を除く)

30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)
0.61人	0.46人	0.36人	△ 0.10人

指標と単位当たりコスト

		指標名	単位	30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因
①	その他	人件費比率	%	78.7	77.3	83.0	5.8	—
②	活動指標	SBCB研修	回	—	1	—	—	
		単位当たりコスト	円/回	—	6,699,642	—	—	実績による
③	活動指標	参与との打ち合わせ	回	12	12	10	△ 2	
		単位当たりコスト	円/回	673,801	558,304	524,221	△ 34,082	
④								
		単位当たりコスト	円/					
⑤								
		単位当たりコスト	円/					

事業実績

2年度目標	・ビジネス手法を用いて社会的課題の解決に取り組むソーシャルビジネス（SB）・コミュニティビジネス（CB）の担い手を育成するためのセミナーを実施。 ・産業振興参与からのアドバイスに基づくイベント等の開催	元年度末時点の課題	庁内の関連所管による意識付けが不足した。
目標に対する事業実績	コロナ禍においてセミナーやイベントの開催を断念した。	課題への対応	コロナ禍においてセミナー開催を断念した。
			未解決
2年度評価	不十分	次年度（4年度）以降の展開	改善

今後の取組

3年度目標	・SB／CBの概念を庁内において再認識する。 ・SB／CBの育成に向けた考え方を庁外に向けての発信する。	2年度末時点の課題	・SB／CBにおける育成方針が定められていない。 ・産業振興参与の要・不要の判断。
3年度の取組	・市のSB/CB支援事業のベースとなるモデルケースの検討 ・松ヶ谷団地におけるSB/B事業の対する支援を実施。	4年度の計画	・SB／CBの事業化に向けた検討

事業概要

事務事業評価シート(令和2年度(2020年度)事業)

事務事業名	新型コロナウイルス感染症緊急対応中小企業者支援										事業類型	補助・負担・支援					
担当部課	産業振興部 企業支援課																
基本計画	編	5	章	1	施策番号	37	企業支援				まち・ひと・しごと 創生総合戦略		—	—			
予算科目	会計		一般会計			款	07	商工費		項	01	商工費		目	01	商工振興費	
根拠法令等	中小企業者パワーアップ補助金交付要綱																
事業目的 (最終的に目指す状態)	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている市内中小事業者を対象に、売上の向上や新分野への事業展開を促進する。																

行政コスト計算書

(単位 千円)

勘定科目		30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)	勘定科目		30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)	
経常費用	人件費	職員給与費	—	—	13,797	—	経常収入	保険料	—	—	0	—
		賞与・退職手当引当金繰入額	—	—	14,104	—		国庫支出金	—	—	431,100	—
		その他	—	—	0	—		都支出金	—	—	85,200	—
		小計	—	—	27,901	—		分担金及び負担金	—	—	0	—
	物件費等	物件費	—	—	12,848	—		使用料及び手数料	—	—	0	—
		維持補修費	—	—	0	—		繰入金	—	—	0	—
		減価償却費	—	—	0	—		その他	—	—	0	—
		その他	—	—	0	—		小計	—	—	516,300	—
		小計	—	—	12,848	—	経常収支差額（A）		—	—	△ 29,443	—
	その他の業務費用	支払利息	—	—	0	—	特別費用		—	—	0	—
		徴収不能引当金繰入額	—	—	0	—	特別収入		—	—	0	—
		その他	—	—	0	—	特別収支差額（B）		—	—	0	—
		小計	—	—	0	—	本年度収支差額 （A）＋（B）＝（C）		—	—	△ 29,443	—
	小計		—	—	40,749	—						
	移転費用		—	—	504,993	—						
	小計		—	—	545,743	—						

2年度	経 常 費 用	経 常 収 入
主な内訳	中小企業者パワーアップ補助金【209,385千円】 感染拡大防止対策支援補助金【295,608千円】	新型コロナ地方創生臨時交付金【431,100千円】 新型コロナ特別交付金【65,200千円】 地域産業活性化に向けた緊急支援事業費補助金【20,000千円】

事業の人員体制(会計年度任用職員を除く)

30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)
—	—	1.93人	—

指標と単位当たりコスト

	指標名	単位	30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因
①	その他	人件費比率	%	—	—	5.1	—
②	活動指標	パワーアップ補助金交付件数	件	—	—	198	緊急経済対策として実施したため純増
		単位当たりコスト	円/件	—	—	2,756,276	
③	活動指標	感染拡大防止対策補助金交付件数	件	—	—	993	緊急経済対策として実施したため純増
		単位当たりコスト	円/件	—	—	549,590	
④	活動指標	個別相談件数	件	—	—	339	実績による
		単位当たりコスト	円/件	—	—	1,609,860	
⑤							
		単位当たりコスト	円/				

事業実績

2年度目標	【個別相談業務委託】 相談件数 400件 【中小企業者パワーアップ補助金】 新製品・新サービス・新技術開発支援 20社 販路開拓支援 50社 【感染拡大防止対策補助金】 感染拡大防止対策支援 500社	元年度末 時点の課題	—
目標に対する 事業実績	【個別相談業務委託】 相談件数 339件 【中小企業者パワーアップ補助金】 新製品・新サービス・新技術開発支援 53社 販路開拓支援 145社 【感染拡大防止対策補助金】 感染拡大防止対策支援 993社	課題への対応	—
			—
2年度評価	目標以上の達成	次年度（4年度） 以降の展開	廃止

今後の取組

3年度目標	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた中小事業者を対象とした売上向上16者以上の支援、社会課題解決に資する新事業展開に挑戦する15者程度を支援する。	2年度末 時点の課題	新型コロナウイルス感染症の影響により、売上の減少や既存事業からの脱却の必要性に直面している事業者への継続支援
3年度の取組	個別相談業務委託 売上アップ支援業務委託 新分野展開促進業務委託 中小企業事業継続支援の実施	4年度の計画	—

事業概要

事務事業評価シート(令和2年度(2020年度)事業)

事務事業名	新型コロナウイルス感染症緊急対応事業者等支援										事業類型	補助・負担・支援				
担当部課	産業振興部 産業政策課、企業支援課															
基本計画	編	5	章	1	施策番号	企業支援/にぎわにつながる産業の振興					まち・ひと・しごと 創生総合戦略		—	—		
予算科目	会計		一般会計		款	07	商工費		項	01	商工費		目	01	商工振興費	
根拠法令等	八王子市事業継続緊急支援金交付要綱、八王子市商店街賑わい復活補助金交付要綱															
事業目的 (最終的に目指す状態)	新型コロナウイルス感染症拡大により打撃を受けた市内事業者に対して支援することで、市内経済の下支えを行うことを目的とする。															

行政コスト計算書

(単位 千円)

勘定科目		30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)	勘定科目		30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)	
経常費用	人件費	職員給与費	—	—	9,508	—	経常収入	保険料	—	—	0	—
		賞与・退職手当引当金繰入額	—	—	9,719	—		国庫支出金	—	—	1,535,749	—
		その他	—	—	0	—		都支出金	—	—	50,800	—
		小計	—	—	19,227	—		分担金及び負担金	—	—	0	—
	物件費等	物件費	—	—	46,245	—		使用料及び手数料	—	—	0	—
		維持補修費	—	—	0	—		繰入金	—	—	0	—
		減価償却費	—	—	0	—		その他	—	—	0	—
		その他	—	—	0	—		小計	—	—	1,586,549	—
		小計	—	—	46,245	—	経常収支差額（A）	—	—	△ 19,411	—	
	その他の業務費用	支払利息	—	—	0	—	特別費用	—	—	0	—	
		徴収不能引当金繰入額	—	—	0	—	特別収入	—	—	0	—	
		その他	—	—	0	—	特別収支差額（B）	—	—	0	—	
		小計	—	—	0	—	本年度収支差額（A）+（B）=（C）	—	—	△ 19,411	—	
	小計		—	—	65,472	—						
	移転費用		—	—	1,540,488	—						
	小計		—	—	1,605,960	—						

2年度	経 常 費 用				経 常 収 入			
主な内訳	事業継続緊急支援金【585,005千円】 プレミアム付商品券委託料【1,548,784千円】				—			

事業の人員体制(会計年度任用職員を除く)

30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)
—	—	1.33人	—

指標と単位当たりコスト

		指標名	単位	30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因
①	その他	人件費比率	%	—	—	1.2	—	—
②	成果指標	支援件数 (事)	件	—	—	2,030	—	
		単位当たりコスト	円/件	—	—	791,113	—	—
③	成果指標	支援件数 (商)	件	—	—	34	—	
		単位当たりコスト	円/件	—	—	47,234,114	—	—
④	成果指標	支援件数 (プ)	件	—	—	1,770	—	
		単位当たりコスト	円/件	—	—	907,322	—	—
⑤	成果指標	支援件数 (家)	件	—	—	5,528	—	
		単位当たりコスト	円/件	—	—	290,514	—	

事業実績

2年度目標	新型コロナウイルス感染症拡大により打撃を受けた市内事業者に対して支援することで、市内経済の下支えを行う。	元年度末 時点の課題	—
目標に対する 事業実績	多くの中小事業者へ支援を行った。 事業継続緊急支援金2030件、573,250千円 テナント家賃緊急支援金5,528件 952,302,000円 プレミアム付商品券市内流通額 約41億円	課題への対応	—
			—
2年度評価	達成	次年度（4年度） 以降の展開	廃止

今後の取組

3年度目標	新型コロナウイルス感染症拡大により打撃を受けた市内事業者に対して支援することで、市内経済の下支えを行う。	2年度末 時点の課題	—
3年度の取組	—	4年度の計画	—

事業概要

事務事業評価シート(令和2年度(2020年度)事業)

事務事業名	観光資源の開発・活用										事業類型	その他					
担当部課	産業振興部 観光課																
基本計画	編	5	章	3	施策番号	42	地域資源を活用する産業の振興				まち・ひと・しごと 創生総合戦略		—	—			
予算科目	会計		一般会計			款	07	商工費		項	01	商工費		目	02	観光費	
根拠法令等	観光立国推進基本法、八王子市いきいき産業基本条例、平成31年度（公社）八王子観光コンベンション協会に対する補助金交付要綱、覚書（地権者と市の間で取り交わしている）																
事業目的 （最終的に目指す状態）	本市の緑豊かな自然をはじめ、長い歴史と伝統文化など、来訪者を魅了する観光資源を発見・開発・活用し、まちのイメージアップによる来訪者の増加を図る。																

行政コスト計算書

(単位 千円)

勘定科目		30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)	勘定科目		30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)	
経常費用	人件費	職員給与費	7,900	9,111	6,577	△ 2,534	経常収入	保険料	0	0	0	
		賞与・退職手当引当金繰入額	683	2,641	560	△ 2,081		国庫支出金	0	0	0	
		その他	0	0	0	0		都支出金	0	0	0	
		小計	8,583	11,752	7,137	△ 4,615		分担金及び負担金	0	0	0	
	物件費等	物件費	10,043	9,683	9,688	5		使用料及び手数料	4,365	3,232	3,800	568
		維持補修費	0	0	0	0		繰入金	0	0	0	0
		減価償却費	0	0	0	0		その他	167	0	1,638	1,638
		その他	0	0	0	0		小計	4,532	3,232	5,438	2,207
		小計	10,043	9,683	9,688	5	経常収支差額（A）	△ 19,431	△ 39,649	△ 11,833	27,816	
	その他の業務費用	支払利息	0	0	0	0	特別費用	0	0	0	0	
		徴収不能引当金繰入額	0	0	0	0	特別収入	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	特別収支差額（B）	0	0	0	0	
	小計	0	0	0	0	本年度収支差額（A）+（B）=（C）	△ 19,431	△ 39,649	△ 11,833	27,816		
	小計	18,626	21,435	16,825	△ 4,610							
移転費用	5,337	21,446	446	△ 21,000								
小計	23,963	42,881	17,272	△ 25,610								

2年度	経 常 費 用	経 常 収 入
主な内訳	滝山観桜林の維持管理【5,939千円】 高尾梅の里維持管理【4,195千円】	—

事業の人員体制(会計年度任用職員を除く)

30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)
1.09人	1.26人	0.92人	△ 0.34人

指標と単位当たりコスト

	指標名	単位	30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因
①	その他	人件費比率	%	35.8	27.4	41.3	13.9
②	成果指標	木下沢梅林 特別開放来場者	人	14,540	—	5,682	—
		単位当たりコスト	円/人	1,648	—	3,040	—
③	成果指標	花火大会観覧者数	人	—	80,000	—	—
		単位当たりコスト	円/人	—	536	—	—
④							
		単位当たりコスト	円/				
⑤							
		単位当たりコスト	円/				

事業実績

2年度目標	・観光資源の維持管理に努めるとともに、観光資源の効果的な発見・開発・活用に取り組む。	元年度末時点の課題	・今後も、引き続き観光資源の適正な維持管理が求められる。
目標に対する事業実績	・滝山観桜林及び高尾梅の里等の環境維持事業を実施し、来訪者の安全確保や賑わいの創出に努めた。さらに、誘客を伴う企画事業については、新型コロナウイルス感染症対策として三密回避の徹底を遵守するなど、状況に応じた対策を行い、安全な観光地づくりを図った。 ・八王子花火大会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベントの開催が中止となった。	課題への対応	・新型コロナウイルスへの対応も含め、今後も、引き続き観光資源の適正な維持管理に努める。
			一部解決
2年度評価	達成	次年度（4年度）以降の展開	現状維持

今後の取組

3年度目標	・観光資源の維持管理に努めるとともに、観光資源の効果的な発見・開発・活用とコロナ禍における対策に取り組む。	2年度末時点の課題	・今後も、引き続き観光資源の適正な維持管理が求められる。
3年度の取組	・八王子花火大会の運営支援 ・滝山観桜林の環境維持 ・高尾梅の里の環境整備	4年度の計画	・八王子花火大会の運営支援 ・滝山観桜林の環境維持 ・高尾梅の里の環境整備

事業概要

事務事業評価シート(令和2年度(2020年度)事業)

事務事業名	観光資源情報の活用										事業類型	普及啓発・情報提供・相談					
担当部課	産業振興部 観光課																
基本計画	編	5	章	3	施策番号	42	地域資源を活用する産業の振興					まち・ひと・しごと 創生総合戦略		—	—		
予算科目	会計		一般会計			款	07	商工費		項	01	商工費		目	02	観光費	
根拠法令等	観光立国推進基本法、八王子市いきいき産業基本条例、令和2年度（公社）八王子観光コンベンション協会に対する補助金交付要綱																
事業目的 （最終的に目指す状態）	（公社）八王子観光コンベンション協会とともに、市内の多岐にわたる魅力を市内外及び海外に発信することによる来訪者の増加、また、おもてなしの向上によりリピーターが増加し、市内が賑わい活力に満ち溢れている状況を目指す。																

行政コスト計算書

(単位 千円)

勘定科目		30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)	勘定科目		30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)	
経常費用	人件費	職員給与費	10,944	13,739	12,368	△ 1,371	経常収入	保険料	0	0	0	
		賞与・退職手当引当金繰入額	994	4,906	1,108	△ 3,798		国庫支出金	0	0	0	
		その他	0	0	0	0		都支出金	341	512	2,376	
		小計	11,937	18,645	13,476	△ 5,169		分担金及び負担金	0	0	0	
	物件費等	物件費	2,957	3,593	1,084	△ 2,509		使用料及び手数料	0	0	0	
		維持補修費	0	0	0	0		繰入金	0	0	0	
		減価償却費	197	197	597	399		その他	5,157	5,138	4,185	
		その他	0	0	0	0		小計	5,498	5,650	6,561	
		小計	3,154	3,790	1,681	△ 2,110		経常収支差額（A）	△ 46,431	△ 49,632	△ 45,492	
	その他の業務費用	支払利息	0	0	0	0		特別費用	特別費用	0	0	0
		徴収不能引当金繰入額	0	0	0	0			特別収入	0	0	0
		その他	0	0	0	0			特別収支差額（B）	0	0	0
		小計	0	0	0	0	本年度収支差額 （A）+（B）=（C）	△ 46,431	△ 49,632	△ 45,492		
	小計		15,091	22,435	15,157	△ 7,279					4,140	
	移転費用		36,837	32,846	36,896	4,050						
	小計		51,929	55,282	52,053	△ 3,229						

2年度	経 常 費 用		経 常 収 入	
主な内訳	インフォメーションセンター運営事業補助金【26,812千円】 観光マップ等作成事業補助金【5,863千円】 高尾山・リニア広域観光拠点地区連絡会負担金【4,035千円】		区市町村観光インフラ整備支援補助金【2,376千円】 多摩・島しょ広域連携活動助成金【4,035千円】	

事業の人員体制(会計年度任用職員を除く)

30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)
1.51人	1.90人	1.73人	△ 0.17人

指標と単位当たりコスト

	指標名	単位	30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因
①	その他	人件費比率	%	23.0	33.7	25.9	△7.8
②	活動指標	案内所開館日数	日	1,025	1,045	910	△ 135
		単位当たりコスト	円/日	50,662	52,901	57,201	4,300
③	成果指標	案内所利用者数	人	335,749	282,348	222,555	△ 59,793
		単位当たりコスト	円/人	155	196	234	38
④							
		単位当たりコスト	円/				
⑤							
		単位当たりコスト	円/				

事業実績

2年度目標	来訪者の誘致及び地域経済の活性化に向けた、情報発信の強化及び満足度の向上に向け、ポータルサイトを活用した観光マップの作成やインフォメーションセンターの運営を実施する。また、アフターコロナを見据えた、インバウンド推進強化を図る。	元年度末 時点の課題	本市の魅力発信における観光大使等の活用方法の検討や外国人観光客誘致に向けた発信方法の充実。さらに、八王子インフォメーションセンターの好立地な場所への移転。
目標に対する 事業実績	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言の発出等により、市外での積極的なPRは困難であったが、新たな生活様式に則したデジタルでの発信を実施、アフターコロナを見据えたデジタル化の促進を図った。 また、外国人観光客誘致においては、渡航制限等により厳しい状況であったが、高尾山・リニア事業でのWEBサイトのコンテンツ充実や来訪者促進に向けた旅行商品の造成に取り組み、訪日外国人旅行を取り扱う旅行業者への売り込みを実施した。	課題への対応	新型コロナウイルス感染症に伴う新たな生活様式に則した魅力発信として、観光大使等によるSNSや動画などを活用した発信を実施した。また、八王子インフォメーションセンター及び（公社）八王子観光コンベンション協会案内所の効果的かつ複合的な情報発信として、関係団体と調整を行っている。
			一部解決
2年度評価	達成	次年度（4年度） 以降の展開	現状維持

今後の取組

3年度目標	新たな生活様式に則した観光情報の発信として、観光マップのデジタル化の促進し、アフターコロナを見据えた来訪者の誘致を図る。	2年度末 時点の課題	観光大使等による継続した情報発信方法の検討。また、非接触での情報発信方法としての観光マップや情報取得のデジタル化。アフターコロナを見据えた外国人観光客誘致に向けた情報発信方法。
3年度の取組	観光情報取得の利便性向上に向けた観光マップのデジタル化及び多言語化。 観光客のニーズに則したコンベンション協会HPのリニューアル。 インフォメーションセンターと（公社）八王子観光コンベンション協会の効果的な活用。	4年度の計画	（公社）八王子観光コンベンション協会との明確な役割分担を行うことで、より効果的な観光振興を図る。 多摩産業交流センターの開設に伴うMICE推進を含めた観光振興。

事業概要

事務事業評価シート(令和2年度(2020年度)事業)

事務事業名	一般観光の推進										事業類型	補助・負担・支援					
担当部課	産業振興部 観光課																
基本計画	編	5	章	3	施策番号	41	にぎわいにつながる産業の振興					まち・ひと・しごと 創生総合戦略		④	－		
予算科目	会計		一般会計			款	07	商工費		項	01	商工費		目	02	観光費	
根拠法令等	八王子市いきいき産業基本条例、平成31年度（公社）八王子観光コンベンション協会に対する補助金交付要綱																
事業目的 （最終的に目指す状態）	観光産業振興プランの主体的な担い手である（公社）八王子観光コンベンション協会の人件費の一部を補助し、本市と相互に連携することで、観光客の誘致を促進し、本市の観光振興を図る。																

行政コスト計算書

(単位 千円)

勘定科目		30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)	勘定科目		30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)
経常費用	人件費	職員給与費	17,104	16,920	9,865	△ 7,055	経常収入	保険料	0	0	0
		賞与・退職手当引当金繰入額	3,401	2,582	840	△ 1,742		国庫支出金	0	0	0
		その他	0	0	0	0		都支出金	0	0	0
		小計	20,506	19,503	10,705	△ 8,797		分担金及び負担金	0	0	0
	物件費等	物件費	6,518	5,759	5,487	△ 272		使用料及び手数料	0	0	0
		維持補修費	0	0	0	0		繰入金	0	0	0
		減価償却費	0	384	576	192		その他	2,710	3,232	8,585
		その他	0	0	0	0		小計	2,710	3,232	8,585
		小計	6,518	6,144	6,063	△ 80	経常収支差額（A）	△ 84,007	△ 83,427	△ 65,436	
	その他の業務費用	支払利息	0	0	0	0	特別費用	0	0	0	
		徴収不能引当金繰入額	0	0	0	0	特別収入	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	特別収支差額（B）	0	0	0	
		小計	0	0	0	0					
	小計	27,023	25,646	16,769	△ 8,878	本年度収支差額（A）+（B）=（C）	△ 84,007	△ 83,427	△ 65,436		
	移転費用	59,693	61,013	57,253	△ 3,760						
	小計	86,717	86,659	74,022	△ 12,637						

2年度	経 常 費 用		経 常 収 入	
主な内訳	八王子観光コンベンション協会補助金【57,193千円】 八王子観光コンベンション協会事務所管理費【5,273千円】		施設共益費等負担金【255千円】 建物賃貸料【2,861千円】	

事業の人員体制(会計年度任用職員を除く)

30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)
2.36人	2.34人	1.38人	△ 0.96人

指標と単位当たりコスト

	指標名	単位	30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因
①	その他	人件費比率	%	23.6	22.5	14.5	△8.0
②							
	単位当たりコスト	円/					
③							
	単位当たりコスト	円/					
④							
	単位当たりコスト	円/					
⑤							
	単位当たりコスト	円/					

事業実績

2年度目標	観光産業振興プランの主体的な担い手であり、観光振興およびMICE誘致を担う観光コンベンション協会について、八王子市の占有部分について賃料等の支出を行うとともに、観光振興を推進するため、コンベンション協会の職員費等を補助する。 八王子観光コンベンション協会や都市間交流を行っている行政や関連団体とともに、本市の魅力的な観光資源やみどころ等を活用し、本市への来訪を促すための観光情報の発信に努める。	元年度末時点の課題	来街者への案内機能や情報発信を充実させるため、セレオ北館（八王子駅ビル）への移転を機に案内所機能を付加し、平日のみの営業から、土日・祝日を含めた営業に拡大したほか、台風19号の影響による高尾山口案内所での修繕対応や、新たな観光大使（北山たけし氏）及び名誉観光大使（北島三郎氏）の委嘱式開催事務等、年度当初に想定できなかった事案の発生もあり、人件費の削減には課題が残った。
目標に対する事業実績	八王子観光コンベンション協会が取り組む、一般観光やMICEを活用したビジネス観光の推進のため、八王子観光コンベンション協会等が行う事業へ補助金等の支出を行った。引き続き、土日・祝日の案内を継続し、情報発信のサービス拡充や、MICE推進事業の強化を図った。	課題への対応	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を目的とした緊急事態宣言の発出等に伴い、多くのイベントが中止となったことによりコンベンション協会全体での時間外勤務手当は減少したが、コロナ禍に併せた事業実施により例年以上に時間外勤務手当が増額した職員がおり、また新規採用職員の年度途中での退職もあり、コンベンション協会内における業務の均衡に課題が残った
			一部解決
2年度評価	達成	次年度（4年度）以降の展開	改善

今後の取組

3年度目標	観光産業振興プランの主体的な担い手であり、観光振興およびMICE誘致を担う観光コンベンション協会について、八王子市の占有部分について賃料等の支出を行うとともに、観光振興を推進するため、コンベンション協会の職員人件費等を補助する。 八王子観光コンベンション協会や都市間交流を行っている行政や関連団体とともに、本市の魅力的な観光資源やみどころ等を活用し、本市への来訪を促すとともに再方を促すための観光情報の発信に努める。	2年度末時点の課題	緊急事態宣言の発出等に伴い、多くのイベントが中止となったこともあり、コンベンション協会全体での時間外勤務手当は減少したが、コロナ禍に併せた事業実施のため、例年以上に時間外勤務手当が増額した職員がおり、また新規採用職員の年度途中での退職もあり、コンベンション協会内における業務の均衡に課題が残る。
3年度の取組	八王子観光コンベンション協会が取り組む、MICEを活用したビジネス観光や一般観光の後押しを行うとともに、観光に関する調査研究、情報の収集、イベントの開催、観光資源の保護・開発の促進、年間を通した観光案内業務、その他観光産業振興事業及びMICE事業に関する事業振興の推進を通じ来訪者の誘致を図る。	4年度の計画	2022年の産業交流拠点の開業に向け、八王子観光コンベンション協会等が行う事業へ補助金等の支出を行うとともに、八王子市や関連団体と連携し、魅力ある観光情報を活用し、来訪者の誘致につなげる。また、MICEを誘致し、地域経済の活性を図るため、関連団体等との連携を強化してゆく。

事業概要

事務事業評価シート(令和2年度(2020年度)事業)

事務事業名	新たな観光資源の整備										事業類型	補助・負担・支援					
担当部課	産業振興部 観光課																
基本計画	編	5	章	3	施策番号	42	地域資源を活用する産業の振興					まち・ひと・しごと 創生総合戦略		—	—		
予算科目	会計		一般会計			款	07	商工費		項	01	商工費		目	02	観光費	
根拠法令等	観光立国推進基本法、八王子市いきいき産業基本条例、平成31年度観光産業振興事業負担金交付要綱																
事業目的 (最終的に目指す状態)	本市の新たな観光産業の魅力を発掘し、来訪者の誘致及び賑わいの創出を促す																

行政コスト計算書

(単位 千円)

		勘定科目		30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)			勘定科目		30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)
経常費用	人件費	職員給与費	9,349	10,412	7,292	△ 3,121	経常収入	保険料	0	0	0	0			
		賞与・退職手当引当金繰入額	2,907	2,712	621	△ 2,091		国庫支出金	0	0	0	0			
		その他	0	0	0	0		都支出金	335	35	4,350	4,315			
		小計	12,257	13,124	7,913	△ 5,211		分担金及び負担金	0	0	0	0			
	物件費等	物件費	1,574	1,156	1,994	838		使用料及び手数料	0	0	0	0			
		維持補修費	0	0	0	0		繰入金	0	0	0	0			
		減価償却費	0	0	262	262		その他	0	0	2,514	2,514			
		その他	0	0	0	0		小計	335	35	6,864	6,829			
	小計		1,574	1,156	2,256	1,099	経常収支差額（A）		△ 17,051	△ 17,079	△ 7,527	9,552			
	その他の業務費用	支払利息	0	0	0	0	特別費用		0	0	0	0			
		徴収不能引当金繰入額	0	0	0	0	特別収入		0	0	0	0			
		その他	56	56	50	△ 6	特別収支差額（B）		0	0	0	0			
	小計		56	56	50	△ 6									
	小計		13,886	14,336	10,218	△ 4,118									
	移転費用		3,500	2,778	4,173	1,395									
	小計		17,386	17,114	14,392	△ 2,722	本年度収支差額（A）+（B）=（C）		△ 17,051	△ 17,079	△ 7,527	9,552			

2年度	経 常 費 用		経 常 収 入	
主な内訳	国史跡滝山城跡周辺の観光資源活用【855千円】 滝山城築城500周年記念事業【8,770千円】		—	

事業の人員体制(会計年度任用職員を除く)

30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)
1.29人	1.44人	1.02人	△ 0.42人

指標と単位当たりコスト

		指標名	単位	30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因
①	その他	人件費比率	%	70.5	76.7	55.0	△21.7	アプリの機能拡充に伴い利用者需要が増加したと推定。
②	成果指標	AR滝山城跡アプリダウンロード数	回	2,422	2,543	3,057	514	
		単位当たりコスト	円/回	7,178	6,730	4,708	△ 2,022	
③	成果指標	フードフェスティバル来場者数	人	34,000	50,000	—	—	フードフェスティバルについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベントの開催を見送ったため。
		単位当たりコスト	円/人	511	342	—	—	
④	成果指標	体験楽習フェスティバル来場者数	人	4,720	7,000	—	—	体験楽習フェスティバルについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベントの開催を見送ったため。
		単位当たりコスト	円/人	3,684	2,445	—	—	
⑤								
		単位当たりコスト	円/					

事業実績

2年度目標	・ 滝山城築城500年記念事業を通じた滝山城と城主北条氏照の普及啓発及び加住地域の観光推進。 ・ フードフェスティバルについては、市内の農産物や食文化等の八王子らしい食の魅力発信を行うイベントとしての開催を支援する。 ・ 体験楽習フェスティバルについては、参加体験型のイベントとしての魅力向上を支援する。	元年度末 時点の課題	・ 新型コロナウイルス感染症対策を講じた安全な事業推進の検討。
目標に対する 事業実績	・ AR滝山城跡アプリのリニューアルを図り、利用者サービスの向上を図った。 ・ 滝山観光まちおこし実行委員会への負担金事業では、ラッピングバスの運行や広告物の製作・掲出を行い、JR八王子駅前や南大沢駅前等に横断幕を掲出するなど、特に市民をターゲットに効果的なPRを図った。 ・ フードフェスティバル及び体験楽習フェスティバルについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベントの開催が中止となった。	課題への対応	・ 正確な情報をもとに、状況に見合った判断をその都度していく必要がある。
			一部解決
2年度評価	達成	次年度（4年度） 以降の展開	現状維持

今後の取組

3年度目標	・ 滝山城築城500年記念事業を通じた滝山城と城主北条氏照の普及啓発及び加住地域の観光推進。 ・ ウィズコロナの中でのイベントの継続を支援する。 ・ 体験楽習フェスティバルについては、令和4年度の開催方法の見直しを検討する。	2年度末 時点の課題	・ 新型コロナウイルス感染症対策を講じた安全な事業推進の検討。 ・ 日本遺産と連携した情報発信と観光PR。
3年度の取組	・ 滝山観光まちおこし実行委員会への負担金事業として、地域団体等と連携した普及啓発やイベント企画を通じ事業推進を図る。 ・ フードフェスティバルについては、ウィズコロナの中でのイベントのあり方を整理し、開催の手法を検討する。 ・ 体験楽習フェスティバルについては、令和2年度の体験型モニタリングツアーを検証し、令和4年度以降の展開を検討。	4年度の計画	・ 滝山城を核に据えた加住地域の継続的な観光振興。 ・ アフターコロナを見据えたイベントのあり方や開催の手法を整理する。 ・ 産業交流センターの活用

事業概要

事務事業評価シート(令和2年度(2020年度)事業)

事務事業名	新型コロナウイルス感染症緊急対応観光支援										事業類型	普及啓発・情報提供・相談					
担当部課	産業振興部 観光課																
基本計画	編	5	章	3	施策番号	42	地域資源を活用する産業の振興					まち・ひと・しごと 創生総合戦略		—	—		
予算科目	会計		一般会計			款	07	商工費		項	01	商工費		目	02	観光費	
根拠法令等	観光立国推進基本法、八王子市いきいき産業基本条例																
事業目的 (最終的に目指す状態)	新型コロナウイルスの収束及び東京2020大会の開催を契機とした来訪者の回復・増加に向けた情報発信を強化する。																

行政コスト計算書

(単位 千円)

勘定科目		30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)	勘定科目		30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)	
経常費用	人件費	職員給与費	—	—	7,864	—	経常収入	保険料	—	—	0	—
		賞与・退職手当引当金繰入額	—	—	8,038	—		国庫支出金	—	—	18,000	—
		その他	—	—	0	—		都支出金	—	—	0	—
		小計	—	—	15,902	—		分担金及び負担金	—	—	0	—
	物件費等	物件費	—	—	18,000	—		使用料及び手数料	—	—	0	—
		維持補修費	—	—	0	—		繰入金	—	—	0	—
		減価償却費	—	—	0	—		その他	—	—	0	—
		その他	—	—	0	—		小計	—	—	18,000	—
	小計	—	—	18,000	—	経常収支差額（A）	—	—	△ 15,902	—		
	その他の業務費用	支払利息	—	—	0	—	特別費用	—	—	0	—	
		徴収不能引当金繰入額	—	—	0	—	特別収入	—	—	0	—	
		その他	—	—	0	—	特別収支差額（B）	—	—	0	—	
	小計	—	—	0	—	本年度収支差額（A）+（B）=（C）	—	—	△ 15,902	—		
	小計	—	—	33,902	—							
	移転費用	—	—	0	—							
	小計	—	—	33,902	—							
2年度	経 常 費 用					経 常 収 入						
主な内訳	八王子動画プロモーション制作等業務委託料【18,000千円】					新型コロナ地方創生臨時交付金【18,000千円】						

事業の人員体制(会計年度任用職員を除く)

30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)
—	—	1.10人	—

指標と単位当たりコスト

		指標名	単位	30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因
①	その他	人件費比率	%	—	—	46.9	—	新規事業として動画を作成したため
②	活動指標	作成本数	本	—	—	37	—	
		単位当たりコスト	円/本	—	—	916,274	—	
③	成果指標	視聴回数	回	—	—	158,329	—	全体動画の再生回数158,329回 マイクロツーリズムのエリア（東京、神奈川、埼玉、山梨）
		単位当たりコスト	円/回	—	—	214	—	
④								
		単位当たりコスト	円/					
⑤								
		単位当たりコスト	円/					

事業実績

2年度目標	コロナ禍における新たな情報発信方法として、八王子観光大使、八王子観光PR特使、八王子芸妓等を活用した魅力あるPR動画を制作し、マイクロツーリズムを視野に入れた効果的な情報発信を行い来訪意欲の向上を図る。	元年度末 時点の課題	—
目標に対する 事業実績	八王子観光大使、八王子観光PR特使、八王子芸妓が 各々の強みや視点でPR動画を37本作成し、動画サイト や交通広告で発信した。 【作成本数】 計37本 八王子全体PR動画 1本 八王子全体動画（短縮版） 1本 滝山PR動画 1本 八王子観光大使、八王子PR観光特使、八王子芸妓 全 34本 【発信方法】 YouTube（全体動画）再生回数 158,329回 交通広告（京王線、井の頭線） 1,986千人 J：COMチャンネル 5,831回配信	課題への対応	—
			—
2年度評価	達成	次年度（4年度） 以降の展開	廃止

今後の取組

3年度目標	観光課のフェイスブックや市のチャンネル、また、コンベンション協会や別事業との連携により魅力発信を継続する。	2年度末 時点の課題	PR動画を制作し広告発信により本市の認知度が向上したが、広告以外の継続した発信方法が課題である。
3年度の取組	観光課のフェイスブックや市のチャンネル、また、別事業との連携により魅力発信を継続する。	4年度の計画	—

事業概要

事務事業評価シート(令和2年度(2020年度)事業)

事務事業名	日本遺産を活かした観光推進										事業類型	イベント					
担当部課	産業振興部 観光課																
基本計画	編	5	章	3	施策番号	41 42	にぎわいにつながる産業の振興 地域資源を活用する産業の振興					まち・ひと・しごと 創生総合戦略		—	—		
予算科目	会計		一般会計			款	07	商工費		項	01	商工費		目	02	観光費	
根拠法令等	—																
事業目的 (最終的に目指す状態)	「霊気満山 高尾山」をストーリーテーマとする日本遺産を活用し、高尾山への誘客を促進する。また、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点からも、本事業において高尾山の繁忙期における人出を平準化する。																

行政コスト計算書

(単位 千円)

勘定科目		30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)	勘定科目		30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)	
経常費用	人件費	職員給与費	—	—	10,509	—	経常収入	保険料	—	—	0	—
		賞与・退職手当引当金繰入額	—	—	10,742	—		国庫支出金	—	—	0	—
		その他	—	—	0	—		都支出金	—	—	13,930	—
		小計	—	—	21,251	—		分担金及び負担金	—	—	0	—
	物件費等	物件費	—	—	29,985	—		使用料及び手数料	—	—	0	—
		維持補修費	—	—	0	—		繰入金	—	—	0	—
		減価償却費	—	—	0	—		その他	—	—	0	—
		その他	—	—	0	—		小計	—	—	13,930	—
		小計	—	—	29,985	—	経常収支差額（A）		—	—	△ 37,306	—
	その他の業務費用	支払利息	—	—	0	—	特別費用		—	—	0	—
		徴収不能引当金繰入額	—	—	0	—	特別収入		—	—	0	—
		その他	—	—	0	—	特別収支差額（B）		—	—	0	—
		小計	—	—	0	—	本年度収支差額（A）+（B）=（C）		—	—	△ 37,306	—
	小計		—	—	51,236	—						
	移転費用		—	—	0	—						
	小計		—	—	51,236	—						

2年度	経 常 費 用		経 常 収 入	
主な内訳	いこうよ高尾山キャンペーン運営業務委託 【29,975千円】		東京都総合交付金【13,930千円】	

事業の人員体制(会計年度任用職員を除く)

30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)
—	—	1.47人	—

指標と単位当たりコスト

		指標名	単位	30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因
①	その他	人件費比率	%	—	—	41.5	—	
②	成果指標	SNS写真投稿 キャンペーン参加者の フォロワー数	人	—	—	1,128,448	—	単年度事業のため、比較不可
		単位当たりコスト	円/人	—	—	45	—	
③	成果指標	モニターツアー参加者数	人	—	—	117	—	令和2年度開始事業のため、比較不可
		単位当たりコスト	円/人	—	—	437,915	—	
④								
		単位当たりコスト	円/					
⑤								
		単位当たりコスト	円/					

事業実績

2年度目標	・「霊気満山 高尾山」をストーリーテーマとする日本遺産の魅力周知 ・「クーポン付アンケート事業」「高尾山フォトキャンペーン」の実施による、本市への誘客促進や地域経済の活性化 ・「新しい生活様式」に基づく、来訪者の受入環境の整備	元年度末時点の課題	—
目標に対する事業実績	・観光地としての新型コロナウイルスに対する対応力の強化 ・日本遺産の認知度向上 ・SNSによる高尾山の魅力拡散	課題への対応	—
			—
2年度評価	達成	次年度（4年度）以降の展開	廃止

今後の取組

3年度目標	日本遺産体験型モニターツアーの実施を通じて、日本遺産に登録された八王子の文化・コンテンツ面における観光的魅力の発掘と今後の観光振興の展開につなげる。	2年度末時点の課題	観光振興における新型コロナウイルス感染症拡大防止との両立。
3年度の取組	日本遺産体験型モニターツアーの実施、及びモニターツアー参加者のアンケート分析、コンテンツ提供事業者とのワークショップによる総括の実施等を通じ、今後の観光振興への展開を検討する。	4年度の計画	民間事業者による自発的なツアー企画やコンテンツサービス提供等への発展